

令和7年度第3回大磯町環境審議会 会議録

○日 時：令和7年10月1日（水）午前10時30分から正午まで
○場 所：大磯町役場本庁舎 4階第1会議室
○委 員：堀委員(会長)、工藤委員(副会長)、田中委員、伊與木委員、山口委員、平田委員、
多田委員、大倉委員、五十嵐委員、坂本委員、迫田委員、吉良委員、半田委員
欠 席：なし
事務局：【産業環境部】部長 森田
【環境課】課長 曽根田
副課長兼環境・エネルギー係長 磯崎
環境・エネルギー係 諸澄
【美化センター】所長 山口
副課長 田中
傍聴者：1名

1 開会

《省略》

2 議題

(1) 一般廃棄物処理手数料の見直しについて（協議）

大磯町の一般廃棄物処理手数料の改定について、前2回の審議を踏まえた改定額の確認及び答申書(案)について、事務局から説明し次のとおり質疑があった。

委員 確認ですが、犬猫の収集4,460円は、元の金額の1.5倍ではないですか。

事務局 犬猫の収集については、持込の3,930円に530円を加算した金額としております。

委員長 それでは、この事務局案により、改定及び答申としてよろしいですか。

委員 《異議なし》

*議題(1)の審議後、会長から答申書に署名をいただいた。

(2) 第3次大磯町環境基本計画前期実施計画の進行管理について（報告）

大磯町環境基本計画前期実施計画の前年度（令和6年度）の進捗について、事務局から報告を行い、次のとおり質疑があった。

委員 資料2-1で、CO₂排出量が73%削減見込みということで、令和12年度のCO₂排出量の目標値が967t-CO₂ですが、どのように設定されたものですか。

事務局 こちらは、令和2年度を基準として1,936t-CO₂を半減させる目標として設定しております。

委員 そうなると、令和7年度には目標値を達成見込みですが、計画は見直しますか。

事務局 計画自体の見直しは予定しておりませんが、CO₂排出削減については更なる取組を続けていきます。

委員 どの業界でもCO₂排出量の削減には苦労しています、太陽光パネルを付けてもそこまで下がるわけでもないですので。良い結果だと思います。

事務局 今回は高圧の電力を使用している庁舎や小中学校など17施設の電力調達について、昨年度に入札を行い、今年度から100%再生可能エネルギーを導入することで、結果として73%のCO₂排出量削減見込みとなっております。今後も再エネ電力の調達は続けていきます。

委員 再エネ電力は価格もだんだん落ち着いてきています。工場などの電気使用量の3割は待機電力とも言われています。施設の待機電力をさげれば、もっと下がると思います。

委員 冷静に見ないといけないところは、資料2-2では大磯町全体で令和6年度115.6千t-CO₂に対して町役場は2t-CO₂程度で、割合としてはとても小さいので、進捗状況としては良い状況ではないと思います。また、再エネ電力契約で排出量を下げるということでしたが、再エネでない電気よりも電気代は高くなるわけで、トータル何キロワットが再エネになったのか、それにあたっての費用はどうでしょうか。

事務局 再エネは、令和7年度契約の内容になりますので、予算ベースの内容で別途ご回答させていただきます。

委員 資料2-1のところで観光案内所の建替えに伴い太陽光パネルを設置したことですが、約5千万円の事業費で何基分でしょうか。

事務局 事業費の約5千万円は、観光案内所の建替えの総額になります。進捗としては1基追加となります。

委員 大磯でごみの不法投棄が溜まっているところがあると聞いたことがあると聞きましたが、件数や取組内容はどのようなものでしょうか。

事務局 不法投棄の件数は、町が確認して回収した件数になります。取組は、神奈川県と協働しながら、防犯カメラの設置や監視パトロールを実施しています。

委員 監視カメラで撮影した、犯人の特定などできていますか。

事務局 町の防犯カメラから特定や検挙に繋がったという事例はまだありませんが、カメラの設置は抑止の効果も期待して設置しているという意味もあります。

委員長 ダミーカメラもありますか。

事務局 ダミーカメラも県に設置していただいている箇所があります。また、実際に設置していなくても「防犯カメラ撮影中」という看板を貼っているところもあります。不法投棄物の中に犯人の特定につながるような物があれば、警察へ情報提供もしています。

委員 以前、谷戸川で不法投棄の内容物から犯人の特定に繋がったことがありました。

委員 鳥居を置くと、良いという話もあります。

委員 下水道の整備状況ですが、大磯町は着実に進んでいるというところは町民として実感しているところですが、接続率についても向上していっていただけるとありがたいと思います。

事務局 所管課にもフィードバックしたいと思います。

委員 資料 2-1 のビオトープですが、皆さんにお知恵をいただきたいところもあり、国府小学校のビオトープは 30 年前に現在の校舎への立替えに際して整備したものですが、夏の暑さで干上がってしまいそうになったりして、管理に苦慮しております。雨水が溜まって自然循環されるようなものが良いのでしょうかけれども。コンクリートで固めてしまったらビオトープじゃなくなってしまうのかとも考えてしまいます。

委員 基本的には、人間が創ったものですので定義はありません。放っておいて維持できれば一番良いのでしょうけど。河川でも自然に配慮して 3 面コンクリート張りじゃないところもあります。人が創ったものは、どうしても人の維持管理が必要になってしまいます。

事務局 ビオトープは、校舎整備の計画も踏まえて、そのあたりも所管課にて検討していくものと思います。

3 その他

なし。

※閉会後、会長から町長へ、本審議会でとりまとめた答申書を手交した。

以上